総会決議事項

インパクト志向金融宣言
Theory of change/中期計画

2025年8月

インパクト志向金融宣言
Japan Impact-driven Financing Initiative

IDFIのTheory Of Change（概要版）

ビジョン：金融機関が扱う資金の流れを可能な限りインパクト志向へと変革させ、
環境・社会課題を自律的に解決しうる持続的な資金循環を生みだしていく

現状課題

インパクト志向の
浸透が限定的

インパクト投資の定義の
曖昧さ・多様化による
ウォッシュの懸念

個社レベルのインパクト
投資の限界

アプローチ
（巻き込むステークホルダーと起こしたい行動変容）

①インパクト志向へ変革することへの納得感の醸成

- プレイヤーごとの行動変容のドライバーへのアプローチ
  - メインストリームの投資家やVCにおけるインパクト創出と企業価値の関係性の明確化
  - アセットオーナーにおけるシステムレベルリスクの理解浸透
  - 個人（消費者）における社会的アウトカムの可視化・・等

②インパクトファイナンスの定義の拡大と質の引き上げ

- 広義を含むインパクトファイナンスの類型化と実践ガイドの整備による新規参入者の巻き込み
- IMMの先進企業の事例共有・形式知化による質の引き上げ

③社会・環境課題を軸としたアセットクラス横断の連携強化

- 社会・環境課題を軸としたアセットクラス横断のファイナンススキームの確立と事例創出（多様なアセットクラス、公的機関や非営利団体などの巻き込み）

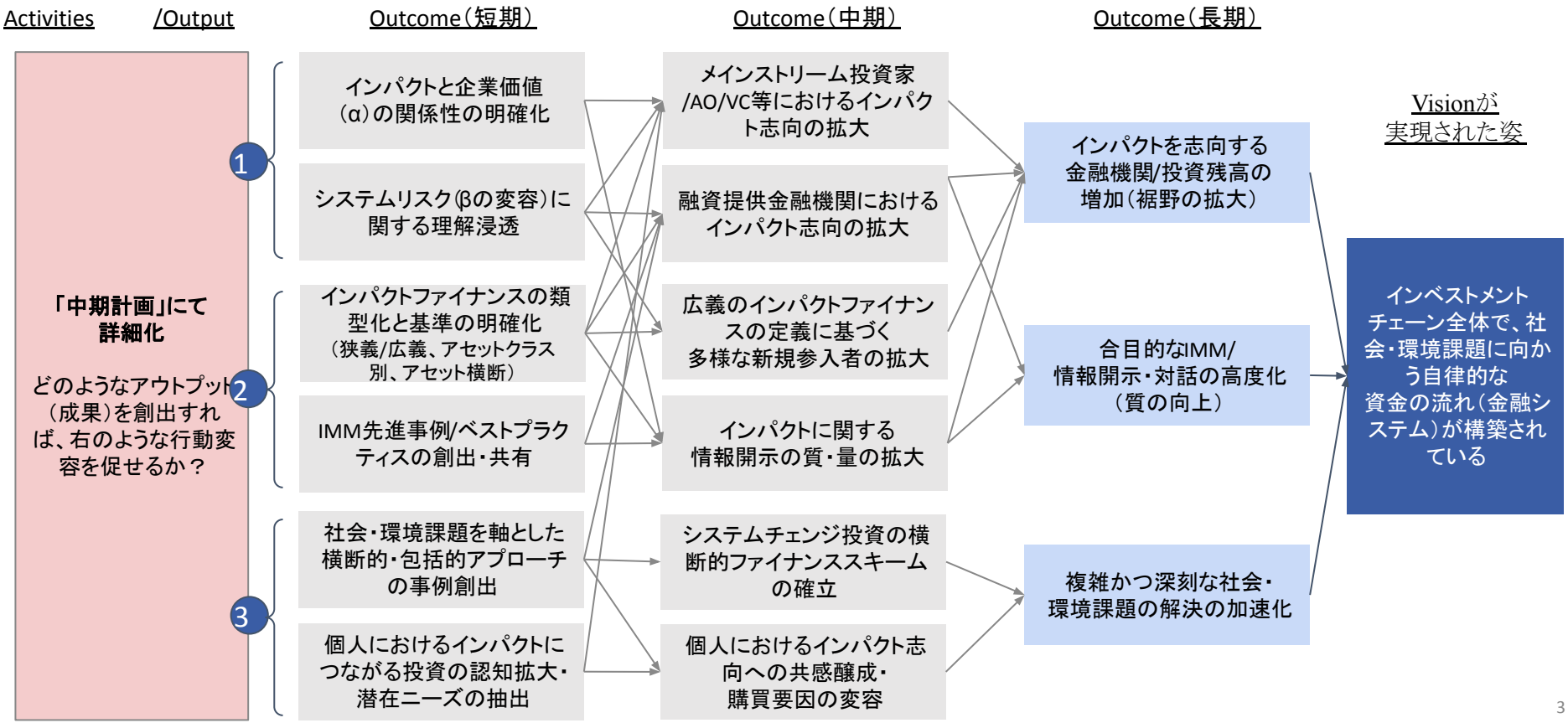
アウトカム

裾野の拡大

IMM/情報開示・
対話の高度化

社会・環境課題
解決の加速化

IDFIのTheory Of Change（図解詳細版）



新・中期計画(2025年度～2028年度）

中期計画（1/3）

※（前提）分科会の動きと連動しながらリソースの問題なども踏まえて適宜アップデートしていく

		2026	2027	2028
①インパクト志向に変革することの納得感の醸成	実務・実践	● インパクトと企業価値の関係性の仮説構築＋ケーススタディ ● βの低減を目指すインパクト投資の実践に向けた議論 /各分科会＋コンテンツ運営委員会	● 企業価値評価に関する実践手引き等の策定/ICEA＋地域金融/融資債券	● 企業価値評価に関する実践手引きの最終化・公開 /ICEA＋地域金融/融資債券 ● エンゲージメント強化型運用手法のガイドライン策定 ICEA＋地域金融/融資債券
	理論・定義	● インパクト創出と企業価値向上の関係性の仮説構築とケーススタディ実証/ICEA＋地域金融/融資債券	● インパクト創出と企業価値向上の関係性に関する文書公開/ICEA＋地域金融/融資債券	
	エンゲージメント形成（宣言内・外）	● システムレベルリスク /システミックリスクなどに関するセミナー開催による理解浸透（アセットオーナー向け） /事務局	● 公開文書（宣言により作成したもの）に関わるセミナー開催/事務局	● 規範化・制度化を見据えた金融庁・JPX・その他自主規制団体等へのエンゲージメント/ICEA＋地域金融/融資債券

中期計画（2/3）

※（前提）分科会の動きと連動しながらリソースの問題なども踏まえて適宜アップデートしていく

		2026	2027	2028
②インパクトファイナンスの定義の拡大と質の引き上げ	実務・実践	● 多様なインパクトファイナンスの最新事例の共有・議論/各分科会	● 新たな定義・算入基準に基づく署名機関の残高集計と公表（プログレスレポート）/事務局	● 現場での実践・フィードバックの吸い上げ/各分科会
	理論・定義	● 多様なインパクトファイナンスの類型化マップの策定（α・β・間接金融・ブレンデッド等）/定義・IMM ● 算入基準のアップデート/定義・IMM	● 「新たなインパクトファイナンスのあり方と段階的導入基準（仮称）」の公開/定義・IMM	● 継続的なアップデート/定義・IMM
	エンゲージメント形成（宣言内・外）	● 新規加入・実務者向けコンテンツの充実/事務局 - インパクトファイナンス基礎知識の研修 - 壁打ち相談会 - イントラサイトの整備	● 類型化の定義に基づくインパクトアワードの開催/事務局＋金融庁等と連携？ ● 署名機関に対する一定の認定基準の設計/事務局	● IDFI書籍第二版発行/事務局 ● 規範化・制度化を見据えた金融庁・JPX・その他自主規制団体等へのエンゲージメント/定義・IMM

継続実施（中級編・実践編への展開）

中期計画（3/3）

※（前提）分科会の動きと連動しながらリソースの問題なども踏まえて適宜アップデートしていく

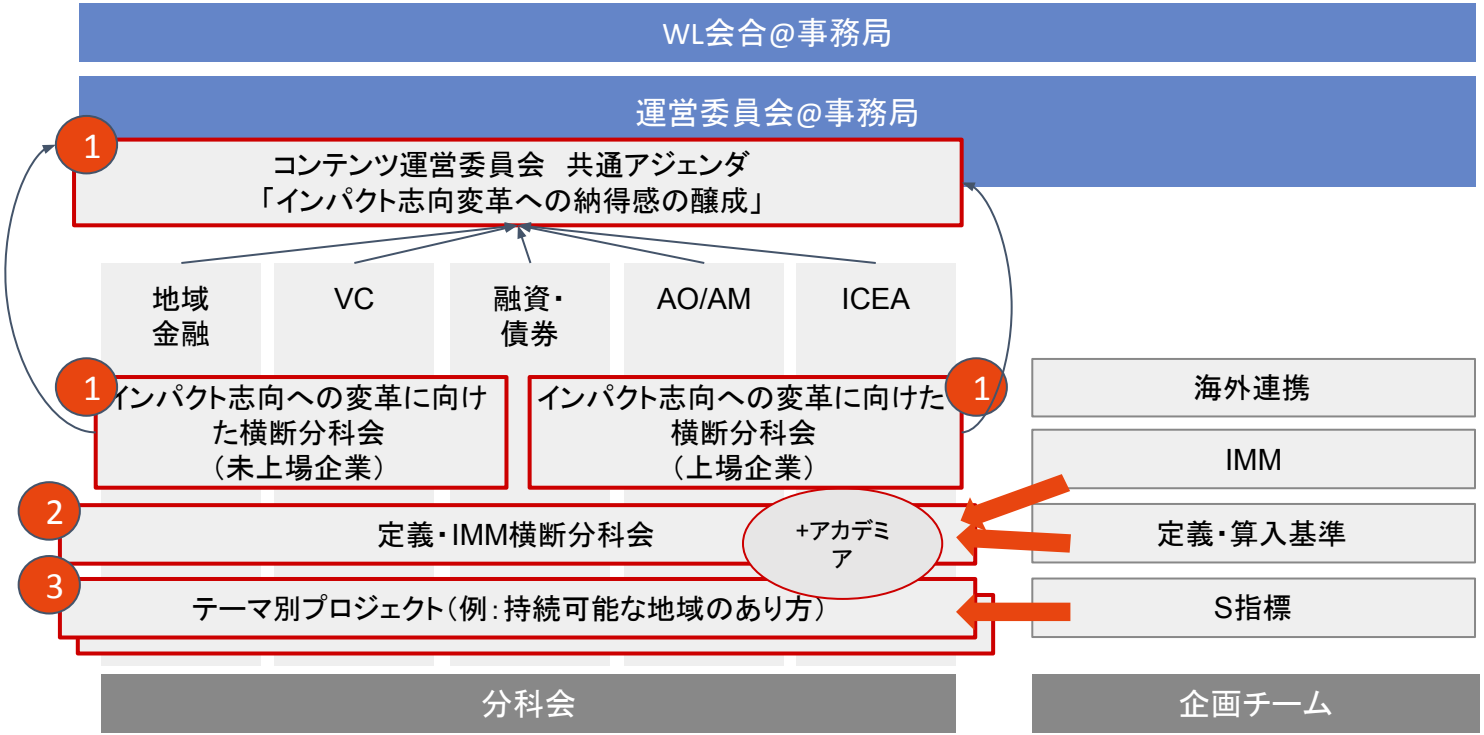
		2026	2027	2028
③社会課題を軸としたアセットクラス横断の強化	実務・実践	● システムチェンジ投資に関する事例収集＋課題議論 / テーマ別分科会	● モデルケースの組成（外部機関や地方自治体との連携）/テーマ別分科会	● モデルケースの社会実装 / テーマ別分科会
	理論・定義	● 選定テーマに関する社会課題の課題マップ策定（アカデミア・地方自治体・他の課題マップ策定PJとの連携）/テーマ別分科会	● 課題マップの公開 ● 横断的アプローチ（ファイナンススキーム）の検討 /テーマ別分科会	
	エンゲージメント形成（宣言内・外）	● システムチェンジ投資などに関するセミナー開催による理解浸透（アセットオーナー向け）/事務局		● モデルケースの進捗・実証結果の公開（スキーム、アウトカム、課題など）/分科会

中期計画（一覧表取りまとめVer）

主要テーマ	活動	成果物
①インパクト志向に変革することの納得感の醸成	● インパクトと企業価値の関係性の仮説構築＋ CaseStudy ● βの低減を目指すインパクト投資の実践に向けた議論 ● システムレベルリスク/システミックリスクなどに関するセミナー開催による理解浸透（アセットオーナー向け） ● 公開文書（宣言により作成したもの）に関わるセミナー開催 ● 金融庁・・JPX・その他自主規制団体等へのエンゲージメント	● インパクト創出と企業価値向上の関係性に関する文書 ● 企業価値評価に関する実践手引き ● エンゲージメント強化型運用のガイドライン策定
②インパクトファイナンスの定義の拡大と質の引き上げ	● 多様なインパクトファイナンスの最新事例の共有・議論 ● 多様なインパクトファイナンスの類型化マップの策定 ● 算入基準のアップデート ● 類型化の定義に基づくインパクトアワードの開催 ● 署名機関に対する一定の認定基準の設計 ● 新規加入・実務者向けコンテンツの充実 ● 金融庁・東証など主要外部機関へのエンゲージメント	● 「新たなインパクトファイナンスのあり方と段階的導入基準（仮称）」 ● 新たな定義・算入基準に基づく署名機関の残高集計と公表 ● IDFI書籍第二版
③社会課題を軸としたアセットクラス横断の強化	● システムチェンジ投資に関する事例収集＋課題議論 ● システムチェンジ投資などに関するセミナー開催 ● 選定テーマに関する社会課題の課題マップ策定（アカデミア・地方自治体・他の課題マップ策定 PJとの連携） ● 横断的アプローチ（ファイナンススキーム）の検討 / ● モデルケースの組成（外部機関や地方自治体との連携） ● モデルケースの社会実装・進捗（アウトカム指標）公開	● 課題マップ ● モデルケースの実績事例（アウトカム）

中期計画（一覧表取りまとめVer）

主要テーマ	活動	成果物
運営・ガバナンス	【自走化後基盤整備】 ● 自走化に伴うIT（Zoom、ワークスペース、メーリングリスト）等の基盤整備 ● 会員名簿の管理ツールを検討・導入 ● 内部資金・予算の充実に向けた取り組みの検討 【ガバナンス】 ● 活動に伴って必要となる運営規程・規則の継続的改訂・整備 ● 適切な予算・執行管理 ● 法人化の検討着手 【内部向けエンゲージメント】 ● 情報共有基盤の整備・運用 ● 新規参加者・新規担当者向けプログラムの実施 ● 署名機関の要望吸い上げ・対応（署名機関エンゲージメント） 【広報】 ● 発信活動の強化 ● イベント実施 ● メディアリレーション強化	● 契約締結、運用開始 ● CRM簡易ツール導入 ● 取り組み計画 ● 運営規程・規則 ● 運営委員会での適切な報告 ● 内部ウェブサイトの充実 ● プログラム実施 ● 定期的なヒアリング実施 ● 発信数他 ● 参加者数・フィードバックアンケート他 ● 記事数

活動主体について

- テーマ①：上場企業＋上場を目指す企業に関して検討する分科会と、未上場企業に関して検討する分科会とに分けて、両者の意見をコンテンツ委員会にて意見を持ち寄り、事務局を中心に取りまとめ
- テーマ②：従来のIMM＋定義・算入基準＋各アセットクラスの有識者を中心に新規横断分科会を組成
- テーマ③：持続可能な地域のあり方をテーマに、まずはサブプロジェクトを組成しスモールスタート。　S指標分科会もここに統合